

目 次	
1. GRAPHMANのCLP出力について	1
2. SPSSX 3.0へのバージョンアップについて	4
3. ケンブリッジ結晶構造データベース(CXDB)の データの追加について	7
4. カード等保管庫の整理について	8
5. 平成3年度講習会計画について	8
6. TSS初級講習会の開催について	9
7. TTY端末における漢字端末クラス初期値の JIS83への変更について(再掲)	10

1. GRAPHMANのCLP出力について

3月25日(月)から、標記機能を追加します。使用例を以下に示します。

(TSSでの使用例)

①メニューにより出力する方法

変更点はメニューにA4サイズCLP, B4サイズCLPが追加されている点です。この番号を選択することによりCLPへの出力が可能です。

READY

GRAPHMAN

GRAPHMAN START

* PICTURE TOUROKU SUBROUTINE LIBRARY = APP1.GRAPH40.PICLIB *

=== FOLLOWING DEVICES ARE SUPPORTED NOW. ===

- 1 NON GRAPHIC DISPLAY (CHARACTER DISPLAY)
- 2 F9431, F9432, F9433, F9434
- 3 T4006
- 4 T4010, T4012, T4013
- 5 T4014, T4015, T4016
- 6 NLP
- 7 XY-PLOTTER
- 8 F9430 & SCOPY
- 9 A4 SIZE NLP
- 10 F6242
- 11 F6653, F6658, F6683 (BGD, WDS, VDS)
- 12 A4 SIZE OPR
- 13 B4 SIZE OPR
- 14 UTS (T40XX)
- 15 A4 SIZE CLP
- 16 B4 SIZE CLP

PLEASE SELECT DEVICE NUMBER ==> 15 A4サイズCLPを選択

GRAPHMAN V01L41 91-03-25

PLEASE WAIT A MINUTE. INITIALIZATION IS PROCEEDING NOW

> PDB 'LIB.SAMPLE.GRAPHMAN'

> USE CONT2N

> DISPLAY BIRD

> ENDG

<< ALLOCATED STORAGE = 149KB , USED STORAGE = 1KB >>

READY

② バッチコピーユーティリティを使用してデータセットに格納した図形の出力方法

【入力形式】

コマンド名	オペランド
GOUT	データセット名 [SY (O A K S H U E)] [SIZE (A4 B4)] [PID (OPR機番)]

【オペランドの説明】

データセット名 : バッチコピーユーティリティを用いて図形を格納したデータセット名を指定する。

SY (O | A | K | S | H | U)

: 出力クラスを指定する。A4版高速NLPへの出力時にはHを指定する。CLP、OPRへの出力時には本オペランドの指定は不要である。省略時はO。

SIZE (A4 | B4)

: CLP、OPR出力時の用紙サイズを指定する。NLP、A4版高速NLPへの出力時には本オペランドの指定は不要である。
CLPへ出力するためには、本オペランドを必ず指定する。
本オペランドとPIDオペランドを同時に指定するとOPRへの出力となる。なお、PIDオペランドを指定し、本オペランドを省略した場合には、B4用紙でOPRに出力される。

PID (OPR機番)

: OPRの機番を指定する。本オペランドの指定によりOPRへ出力されることが決定する。

READY

GOUT GRAPHMAN.DATA NLPへ出力

READY

GOUT GRAPHMAN.DATA SY(H) A4版高速NLPへ出力

READY

GOUT GRAPHMAN.DATA SIZE(A4) CLPへA4サイズで出力

READY

GOUT GRAPHMAN.DATA SIZE(B4) CLPへB4サイズで出力

READY

GOUT GRAPHMAN.DATA SIZE(A4) PID(XXXX) OPRへA4サイズで出力

READY

GOUT GRAPHMAN.DATA PID(XXXX) OPRへB4サイズで出力

(バッチによる使用例)

//A79999AG JOB CLASS=A

// EXEC GRAPHMAN,SY=E 出力クラスは必ずE, またはUにする。

//SYSIN DD *

15 A4サイズCLPを指定。B4サイズCLPは16である。

PDB 'LIB.SAMPLE.GRAPHMAN'

USE CONT2N

DISPLAY BIRD

ENDG

/*

//

(ライブラリ室 内線2508)

2. SPSSX 3.0へのバージョンアップについて

4月3日(水)よりSPSSXを2.2版から3.0版にバージョンアップします。主な改良点、及び使用法は以下のとおりです。詳細については、3月15日発行の九州大学大型計算機センター広報(Vol.24No.2)に掲載の解説記事「SPSS-X 第3.0版について」及びその他の参考文献を参照してください。

- ・会話モードでの実行機能の新設
- ・マトリックスデータの入出力機能の改善
- ・新統計手続きの追加
非線形回帰分析法，時系列解析法(オプション)，作表処理(オプション)の追加
- ・ファイル定義法の改善
- ・従来の統計手続きの用法上の改善
OPTIONSとSTATISTICSのコマンドの機能を各コマンドのサブコマンドとして設ける。

使用法

TSSコマンド

コマンド	オペランド
SPSSX	[<u>L</u> ISTING (出力ファイル)] [<u>J</u> OURNAL (ジャーナルファイル)]

L I S T I N G : 処理結果を集録するファイルを指定する。省略時は端末に出力される。
J O U R N A L : 履歴を記録するファイルを指定する。

バッチ処理

カタログド プロシジャ	オペランド
SPSSX	[SYSOUT= {O U <u>A</u> S K H}]

S Y S O U T : 出力クラスを指定する。省略値はA。

実行例

TSSコマンドの例(下線は入力部分)

- ① 会話モードでの実行例(インラインデータ入力時の例)

READY

SPSSX

:

:

SPSS-X>

DATA LIST FREE/A B C.

DATA LIST FREE/A B C.

SPSS-X>

BEGIN DATA

BEGIN DATA

DATA>

1 3 5

1 3 5

DATA>

2 3 1

2 3 1

DATA>

3 6 2

3 6 2

DATA>

END DATA

END DATA

:

:

SPSS-X>

DESCRIPTIVE VAR=ALL.

DESCRIPTIVE VAR=ALL.

出力結果 (一部)

↓

NUMBER OF VALID OBSERVATIONS(LISTWISE) = 3.00

VARIABLE A

MEAN 2.000 STD DEV 1.000

MINIMUM 1.00 MAXIMUM 3.00

VALID OBSERVATIONS - 3 MISSING OBSERVATIONS - 0

変数 B, C の出力は省略

:

SPSS-X>

FINISH.

FINISH.

READY

② 会話モードでの実行例 (データセットを使用する時の例)

READY

SPSSX LISTING(SPSSX.LIST) JOURNAL(SPSSX.JRNL)

:

:

SPSS-X>

GET FILE=SPSSX.DATA.

GET FILE=SPSSX.DATA.

FILE 'A79999X.SPSSX.DATA'

:

:

SPSS-X>

CROSSTABS TABLE=AGE BY DBP58.

CROSSTABS TABLE=AGE BY DBP58.

:

出力結果

:

SPSS-X>

FINISH.

FINISH.

READY

バッチジョブの例

①データセット入力の例

//A79999AA JOB CLASS=A

// EXEC SPSSX

//SYSIN DD DSN=A79999A.SPSSX.PRO,DISP=SHR

//

②数量化理論解析の処理

//A79999AA JOB CLASS=A

// EXEC SPSSX

//SYSIN DD *

DATA LIST FREE/A B C

VARIABLE LABELS A 'SHICHOURLTSU' /

B 'NAIYOU' / C 'JIKANTAI'

VALUE LABELS B 1'GENDAIGEKI' 2'JIDAIGEKI' 3'MANGA' 4'QUIZ & SONG' /

C 1'19' 2'20' 3'21' 4'22' /

BEGIN DATA

7.2 3 1

7.1 4 1

5.4 4 3

6.8 2 4

4.2 1 1

15.6 2 2

2.3 3 1

4.9 4 1

6.1 1 2

END DATA

USERPROC NAME=HAYASII

VARIABLES=B C(1,4)/CRITERION=A WITH B C(1)/

OPTIONS=11/STATISTICS=ALL

FINISH

//

参考文献

- ・ SPSSX User's Guide 3rd Edition, SPSS Inc.
- SPSSX Introductory Statistics Guide, SPSS Inc.
- SPSSX Advanced Statistics Guide, SPSS Inc.
- SPSSX User Code, SPSS Inc.
- ・ 三宅, 山本: 新版SPSSX I 基礎編, 東洋経済新報社, 1986
- 垂水他 : 新版SPSSX II 解析編, 東洋経済新報社, 1990
- 三宅他 : 新版SPSSX III 解析編, 東洋経済新報社, (印刷中)
- ・ 九州大学大型計算機センター広報 22, 6(1989), [浅野他]
- 九州大学大型計算機センター広報 24, 2(1991), [三宅他]

(ライブラリ室 内線2508)

3. ケンブリッジ結晶構造データベース(CXDB)のデータの追加について

3月8日に、ケンブリッジ結晶構造データベース(CXDB)のデータを追加しました。
データの登録件数は、105,398件(1988年分まで)です。

使用法: 'A70140B. QUEST88. CLIST' をコピーし, 実行する。

例) COPY 'A70140B. QUEST88. CLIST' QUEST88. CLIST
EX QUEST88

データベースは, A70140B. ASER. DATA から A70140B. ASER2. DATA(A)に変更されました。
以前のQUEST88. CLISTはA70140B. ASER. DATAを検索しますので, ご注意ください。

エラーなどが生じた場合は, A70140BまたはA70140Cにメールでお知らせ
ください。

参考文献

1. 河野重昭, “ケンブリッジ結晶構造データベース用プログラムQUEST88の使用
法”, 広報 Vol. 23, No. 3, pp. 186-202, 平成2年5月。

(データベース室 内線2510)

furukawa@sun4. cc. kyushu-u. ac. jp

4. カード等保管庫の整理について

2階公衆電話横に設置していますセンター利用者用のカード等保管庫の整理を3月末に行います。

同保管庫の利用については、通常は利用受付日から6カ月を限度に利用が認められていますが、利用期限後も再利用の手続きを行わずに利用したり、或は物品をそのまま放置していると思われる保管庫が多数見受けられます。

よって、今回確認のため同保管庫の整理を行いますので、利用期限後も再利用の手続きを行わずに同保管庫を利用されている方は、3月30日(土)までに2階受付で再利用の手続きを行ってください。

なお、利用期限切れになった同保管庫内の物品については、4月1日以降当センターで適宜整理を行い2階受付内で1カ月保管した後廃棄処分致しますのでご了承ください。

(システム運用掛 内線2517)

5. 平成3年度講習会計画について

下記のとおり平成3年度の講習会が計画されていますので、お知らせします。なお、開催日は都合により変更することがありますので、センターニュースにご注意下さい。

記

開催日	講習会名	内 容	受講対象者	募集人員
4月18日(木) 19日(金)	TSS初級	TSSを利用したプログラムの編集・実行などの会話型処理の基本の演習	初心者(パソコン端末・電子メール講習会の受講を考えている人でTSS初心者は受講すること)	40名
4月24日(水)	FORTRAN77 使用法	FORTRAN77プログラムの実行方法について解説と実習	センター利用経験者(TSS初級を受講しておくことが望ましい)	40名
5月23日(木)	UTS利用	UTSのもとで利用可能な各種ソフトウェアの利用法の説明と実演	UNIX利用経験者	40名
5月28日(火)	パソコン端末	パソコンを大型計算機の端末として利用する方法及び計算機間のファイル転送の説明	センター利用経験者(TSS初心者はTSS初級を受講しておくこと)	40名
5月29日(水)	文献情報検索	文献情報検索システムAIRを用いた文献情報の検索法と実習	初心者	40名
6月7日(木) 金	ISDN利用	ISDNを使って大型計算機センターを利用する方法	センター利用経験者(パソコン端末を受講しておくことが望ましい)	40名

開催日	講習会名	内 容	受講対象者	募集人員
6月25日(火)	VP使用法	ベクトルプロセッサ上でのFORTRANプログラム実行方法・ベクトル化チューニングツール使用法・高速化についての解説と実習	FORTRAN77利用経験者	40名
7月3日(水)	電子メール利用	MSP (BITNET, MHS); UTS (JUNET) における電子メール利用法の説明と実習	初心者(UTS利用TSS初級を受講しておくこと, パソコン端末はできるだけ受講しておくこと)	40名
7月11日(木)	トーマス・マン・ファイルおよびゲータ・ファイルの検索	テキストデータベース管理システムSIGMAの概説, トーマス・マン・ファイルおよびゲータ・ファイルの解説と実習	初心者	30名
9月10日(火)	SPSS-Xによるデータ解析	社会科学向け統計解析ツールSPSS-Xを用いたデータ解析方法の解説と実習	SPSS-X利用経験者	30名
10月30日(水)	ケンブリッジ結晶データベース	ケンブリッジ結晶データベースの利用法と実習	初心者	30名
11月29日(金)	MARC, MENTATの使用法	有限要素法を用いた構造解析プログラムMARCの使用法とそのポスト処理であるMENTATの使用法の解説と実演	センター利用経験者(UNIX利用経験を含む)	10名

6. TSS初級講習会の開催について

標記講習会を下記の要領で開催いたします。受講希望者は、共同利用掛(内線2532)にお申し込みください。

記

- ・日 時 4月18日(木)・19日(金) 10時 ~ 16時
- ・受付時間 9時30分 ~ 9時50分
- ・対 象 TSS初心者(パソコン端末, 電子メール講習会の受講を考えている人でTSS初心者の人ではできるだけ受講してください)
- ・募集人員 40名
- ・内 容 TSSを利用したプログラム, テキストの編集法及びプログラムの実行など会話型処理の基本
- ・会 場 大型計算機センター・多目的講習室(3階)
- ・講 師 ネットワーク掛 入江 啓一, 共同利用掛 柳池 定
- ・テキスト 利用の手引 TSS編(1990年8月)使用

・時間割

	10:00	12:00	13:30	16:00
1日目	TSSの概要 プログラムの編集		昼 休 み	実 習

	10:00	12:00	13:30	16:00
2日目	プログラムの実行 FIBジョブの依頼法		昼 休 み	実 習

- ・申し込み期間 4月5日(金)～12日(金)
(なお、募集定員に達し次第締め切ります。)

7. TTY端末における漢字端末クラス初期値のJIS83への変更について(再掲)

4月1日(月)から、TSSセッション開設時のTTY端末の漢字端末クラス(JTTYコマンドの初期値)をJOISからJIS83に変更します。これは、利用者提供の通信ソフトがJIS83をサポートしていることや、現在市販されている通信ソフトにはJOISがサポートされていないことなどの理由によります。変更後は、LOGON時の日本語メッセージが読めなくなりますので、利用者は現在使用している通信ソフトの設定漢字の変更をお願いします。

(ネットワーク掛 内線2542)